

# やた はな組

2013/11/19 (火)、第7回「やた はな組」を開催しました。  
その時の様子を簡単に報告させていただきます!!

矢田圏域ケアマネ勉強会「やた はな組」を矢田中ひまわり会館にて開催いたしました。

当日は朝から雨に雹が降り、一日不順な天候にもかかわらず、たくさんの方に参加いただきました。

今回は地域ケア会議で話し合った、「認知症がある一人暮らし高齢者がボヤをだされた」ケースについて、インシデントプロセス法を用いて、参加された方々と事例について検討を行いました。



最初に担当ケアマネから事例の出来事について紹介があり、次に参加者から、担当ケアマネに質問をし、事例の全体像や問題の背景に近づいて行きました。(情報収集能力)

その後、集めた事実から、当面の課題や具体案などについて、個人ワークを行ってもらい、

個人ワークを元に、今後の具体的な対応などをグループワークで検討いたしました。

今回参加がケアマネ

のみならず、地域福祉コーディネーター、区未来戦略課ソーシャルワーカー、ランチ相談員と地域支援者にもワークに参加いただき、ケアマネ視点だけではない、地域支援の体制についても話し合い、検討ができたことは、大きな一歩であったと思います。



参加された方々から「地域の支援を受けることで、在宅生活が続けられることもあると理解した」、「本人と地域を結ぶことが、一人暮らしの不安を解消できる」、「地域で支え合うということは、いろんな視点や意見を聞くことが重要と学んだ」などなどの意見を聞き、利用者の支援のためには、地域支援体制の構築が必要であると、改めて考えていただけたものと思います。



「やた はな組」では、できるだけ参加された方々に、自分の考えを自分の言葉で話していただき、他の人の意見も聞き、何らかの答えは参加者が自ら導き出してもらいたいと考えています。そのうえで、地域における相談支援の担い手として、一人一人が力をつけていただけたなら、矢田の地域にとって、何より心強い存在になっていただけたと思います。

事例発表いただいたケアマネさん、ご協力いただいた矢田中地域福祉コーディネーターさん、矢田東地域福祉コーディネーターさん、区役所未来戦略課ソーシャルワーカーさん、矢田東地域在宅サービスステーション相談員さん、矢田西地域在宅サービスステーション相談員さん、参加いただいたケアマネのみなさん ありがとうございます。

次回「第8回 はな組」にも、みなさまの参加をお待ちしています。

「やた はな組」は、参加される皆さんの意見を反映させ、自由につくっていきたくと思っています。皆さんの要望や意見もお聞かせください!!

矢田地域包括支援センター  
電話 06-6694-5552 E-mail houkatu@karan.or.jp